

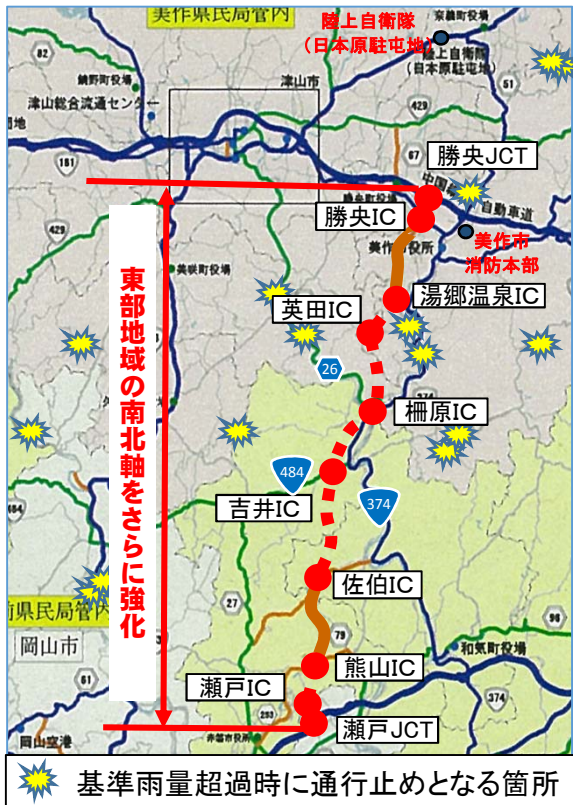


平素より美作岡山道路の建設推進にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

岡山県では、災害発生時でも救援活動や支援物資の輸送などを確実に実施できるよう、災害時の道路ネットワークの強化に取り組んでいます。

岡山県の東部地域は、高速道路の整備が不十分であり、土砂崩れや落石等の危険性が高まる大雨時には通行止めとなる箇所も多く、災害時のネットワーク確保に課題が残ります。美作岡山道路の整備は、これらのネットワークの強化に大きく役立ちます。

美作岡山道路による道路ネットワークの強化



現在、岡山県の東部地域では、災害時に県外からの支援などにも利用される南北路線として国道374号等が位置づけられています。

しかし、急峻な斜面沿いを通る国道374号は、大雨時には土砂崩れや落石等の危険性が高まることから、通行止めとなり、ネットワークが寸断されることがあります。また、岡山県では幸いにも、近年大きな地震は発生していませんが、地震による落石により、通行止めとなることも想定されます。

国道374号の代替路にもなる美作岡山道路が全線整備された場合には、東部の南北軸がさらに強化され、被災直後の緊急輸送をスピーディでより円滑に実施することができるものと考えております。

奈義町の陸上自衛隊日本原駐屯地からの救援活動や、津山市内や岡山市内の拠点病院への救急搬送などに大きく貢献するものと期待されます。

このためにも、周辺道路からアクセスしやすい位置にインターチェンジが必要となります。

自衛隊の声

人命救助に向かう場合は、一刻も早い現場到着が必要です。

美作岡山道路の整備により、より迅速な対応が可能となります。



美作市消防本部の声

病院までの搬送時間が短いほど生存率が上がります。また、自動車専用道路のように広くて安全な道は揺れが少なく、車内で医療行為が行いやすくなります。美作岡山道路の全線開通時には、緊急搬送の時間短縮が図れます。



8月26日発生の通行止めについて

国道374号(美作市巨勢地内)と県道位田飯岡線(美作市安蘇地内)では、美作市内の観測局で基準雨量を超過し、災害の発生が懸念されたことから、事前通行規制を行いました。

万が一への備えのためとはいえ、美作ICまで約7km、10分の迂回となり、道路利用者の方々や住民の方々にも大きな負担となりました。

美作岡山道路が整備されれば、このような大雨時でも通行を確保できるため、安全・安心な道路ネットワークとなります。

国道374号通行止め状況
(8月26日(金)午後6時頃)

